

旭川未来会議2030 意見等一覧（検討状況進捗管理表）

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
1	R5	女活	すみまセンエン・サンキューチケット・プロジェクト	女性活躍推進課	調査	商工会議所を通じて事業者におけるニーズ調査を実施、その結果をもって実施の要否を見極め、必要に応じて取り組み方法を検討する。		
				経済交流課	長期検討	市だけではなく企業側にも費用負担を求めるものであり、双方が現在行っている取組についての費用対効果等も勘案しながら、慎重に検討する必要がある。		
2	R5	女活	女性のキャリアの保健室	女性活躍推進課	予算要求	令和6年度からの実施を目指し予算要求を行う。		
3	R5	女活	共働きの円滑な継続に向けた行政によるサポート体制の構築～「若年層・青年層に向けた共働きの現実を知る機会の提供」	女性活躍推進課	改善可能	令和6年度啓発セミナーのテーマとして取り扱う。		
4	R5	女活	共働きの円滑な継続に向けた企業によるサポート体制の構築～「従業員とそのパートナーを含めた就労継続・キャリア形成への寄り添い支援」	女性活躍推進課	調査	令和6年度に実施を予定している「男女共同参画市民アンケート」においてニーズ調査を実施、その結果をもって企業への周知・啓発を検討。		
5	R5	女活	親の負担を軽減する環境づくり～「低コストの託児制度」	こども育成課	実施済	1歳～就学前までの保育園等に通園していない児童を育児している保護者が、急な用事などで児童の保育ができない場合に一時的に保育所等で預かる一時預かり事業（一般型）を13か所で実施している。		
6	R5	女活	親の負担を軽減する環境づくり～「学費・医療費の無料化」	子育て助成課	実施済	令和5年8月から、中学生までの医療費（健康保険適用後の自己負担額）の無償化を実施済。		
				学務課	実施済	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費や特別支援教育就学奨励費の支給を実施しており、家庭の経済状況にかかわらず、全ての子どもが質の高い教育を受けられるよう支援しています。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
7	R5	女活	親の負担を軽減する環境づくり～「保育園×小児科，小学校×学童保育の併設」	こども育成課	実施済	病児保育事業では，保育所等で児童が体調不良となった際，保護者が仕事の都合で迎えに行くことができない場合に，病児保育室の看護師が代わりに保育所等へ迎えに行き，診察後，保護者が迎えに来るまで病児保育室で一時的に預かるお迎えサービスを実施している。 【小学校×学童保育】 R5.12.1現在 ・市内小学校全51校のうち42校に放課後児童クラブ（学童保育）を設置している。 ・児童クラブ未設置の9校のうち，3校では保育の必要な児童だけではなく，全校児童を対象とした放課後子供教室を実施している。		
				学校施設課	実施済	学童保育（放課後児童クラブ）については，子育て支援部と協議の上，財産処分や目的外使用の承認により，小学校敷地内へ設置することを認めている。		
8	R5	女活	親の負担を軽減する環境づくり～「子育て世代をフォローする側への手当等に対する支援」	女性活躍推進課	改善可能	厚生労働省が2024年度から新設する「両立支援等助成金(育休中等業務代替支援コース)」の市内中小企業に向けた周知を実施 ※多様な働き方セミナーの活用		
9	R5	女活	業務以外コミュニケーション機会の創出（社内カフェスペースの設置や業務外テーマでのグループワークの実施など）	女性活躍推進課	改善可能	市内企業に向けた啓発・周知を実施 ※多様な働き方セミナーの活用		
10	R5	女活	お試し起業支援（期間限定トライアル・ポップアップストア・場所の提供・実験基金・始め方セミナーなど）	地域振興課	調査	買物公園エリアにおける空間の効果的な活用については，R5年度中に構築する官民連携によるエリアプラットフォームにおいて，R6年度以降に検討を行う。		
				産業振興課	調査	お試し機会の提供に関するメニューは現在実施していないが，産業創造プラザによる創業支援セミナー「BizCafe」の開催や事業計画の立案への助言，助成金等の手続きの支援，経営の伴走支援を行っている。		
				経済交流課	調査	旭川はれて屋台村が出店トライアルの場として存在することや，物販イベントが本市及び近郊にて多数行われているが，今後も関係課と連携しながらニーズの調査を進める。		
11	R5	女活	従業員に対しキャリアカウンセリングなどキャリア形成に係る支援を行う企業へのサポート	女性活躍推進課	調査	令和6年度に実施を予定している「男女共同参画市民アンケート」においてニーズ調査を実施，その結果をもって企業への周知・啓発を検討		
				産業振興課	調査	産業創造プラザの事業で「人材育成助成事業」を行っており，地域企業が行う，派遣研修事業・自主研修事業の経費の一部を助成している。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
12	R5	女活	女性向けの就労説明会・相談会・交流会の実施（就職前チャレンジ・セカンドキャリアサポートなど）	女性活躍推進課	調査	経済総務課事業との連携による取組を検討		
13	R5	女活	多様な年代を対象にしたスポットワーカーと起業とのマッチング・ポータルサイト（しごとコンビニなど）	地域振興課	調査	買物公園エリアにおける空間の効果的な活用については、R5年度中に構築する官民連携によるエリアプラットフォームにおいて、R6年度以降に検討を行う。		
				経済総務課	実施不可	既に様々な民間事業者が事業展開を行っており、令和5年4定補正においてスポットワーク活用への補助を行うこととした。スポットワークは即効性のある求人が特徴であり、各種募集条件の精査も含め、市で当該サイトを立ち上げ、管理することは人員面・費用面で困難であると考え。		
14	R5	女活	附属機関等の会議にカジュアルに参加できる仕組みづくりを行う～「オンラインでの参加を可能にする」、「SNSや若者に親しみのある表現での会議内容をPRする」、「会議ではなくワークショップを企画する」	行政改革課	長期検討	附属機関等へのオンライン参加については、現状でも禁止とはしていないが、他都市では規則や要綱等で明記している例もあるため、これらを参考としながら多様な参加方法が実現できる体制構築を検討していく。 また、SNS等を活用した会議内容の効果的な発信や会議運営の手法としてのワークショップについて、各部局において若者を中心としたより多くの方に関心を持ってもらえるものを企画するよう、働きかける。		
				女性活躍推進課	改善可能	会議運営の提案として庁内掲示板や研修等を通して啓発を行う。		
15	R5	女活	市議会にカジュアルに参加できる仕組みづくりを行う～「オンラインでの参加を可能にする」、「SNSや若者に親しみのある表現での会議内容をPRする」	議事調査課	実施済	・市議会だよりにおいては分かりやすい言葉を使いながらイラストの挿入なども行い、見た人に事実を正確に伝えつつ読みやすい記事にすることを心がけている。 ・市議会の開催時期はホームページで掲載しており、若者には容易に検索可能となっている。 ・本会議の生中継や録画中継を行っており、年代や生活スタイルに関係なく視聴可能となっている。 ・女性に限定した意見交換会は実施されていないが、年代・性別を問わない意見交換会は毎年実施しており、テーマに沿った課題や感じていることを発言できる機会を設けている。（事前申込みで託児可）		
				議事調査課	実施済	特別委員会の様子についても今後インターネット中継を実施する予定。		
				議事調査課	長期検討	・市民と議会の意見交換会は、日時や会場など（オンラインでの参加も含む）、今後も市民が参加しやすくなるよう検討する。 ・SNSでの情報発信などについて、広聴広報委員会において検討する。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
16	R5	女活	まちの取組や課題解決について、女性視点でフランクに意見交換ができる会議を開催する。	女性活躍推進課	改善可能	これまで実施してきた男女共同参画推進団体による事業報告会（R2~4年度はコロナウイルス感染症拡大のため未実施）を再構築して実施する。		
17	R5	障ス	移動支援サービスの充実	障害福祉課	調査	拡充できる要素がないか検討する。		
18	R5	障ス	公共施設やスポーツ施設等のユニバーサル化	障害福祉課	調査	現在のユニバーサル化の調査、新施設建設時のユニバーサルデザインにかかるマニュアルの整備、施設従業員への理解などの方法を検討する。		
				公共施設マネジメント課	長期検討	「旭川市公共施設等総合管理計画（改訂版）」（令和4年3月策定）において、公共施設等の整備、改修等に当たってはバリアフリー化に取り組むとともに、ユニバーサルデザインの考えに基づき、誰もが利用しやすい施設整備を目指すこととしている。		
				スポーツ課	調査	現在のユニバーサル化の調査、新施設建設時のユニバーサルデザインにかかるマニュアルの整備、施設従業員への理解などの方法を検討する。		
				公民館事業課	長期検討	施設改修等の際にはユニバーサル化を検討する。 障がいの有無に限らず誰もが参加可能な学びの場の提供手法を検討する。		
				地域活動推進課	実施済	利用者が快適に施設を利用できるよう、利用者の要望を踏まえ、段差の解消や案内表示の改善といった施設の利便性向上の取組を実施している。今後も、誰もが安全に施設を利用できるよう、施設の利便性向上の取組を続けていく。		
				長寿社会課	長期検討	高齢者施設のユニバーサル化については、入口にスロープの設置等、既に実施しているものもあるが、施設設備の全てのユニバーサル化は、既存施設の構造上の問題や財政的な問題等の課題がある。 高齢者施設の一部は、老朽化も進んでいるため、今後、新たに高齢者施設を建設する際は、障がい者の意見や専門家の意見を取り入れ、誰もが利用しやすいユニバーサル化された施設となるよう検討する。		
公園みどり課	長期検討	一定程度の面積を有する公園の遊具更新に際し、園路のバリアフリー化を検討する。						
19	R5	障ス	教育へのパラスポーツの導入	教育指導課	予算要求	R6年度からの実施に向け新規事業（児童生徒の豊かな心を育成するため、専門家との体験的活動等を通して、多様性を認め合うことや、夢や目標を持つこと等の価値を学ぶ機会を設定する）の予算要望中		
				スポーツ課	長期検討	関係課との協議等が必要		
				障害福祉課	長期検討	関係課との協議等が必要		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
20	R5	障ス	市役所にパラスポーツ部（係）を早期設置	行政改革課	長期検討	パラスポーツに関しては関係する部局でそれぞれ事業を行っているため、今後も当該部局において更なる取組を進めていくべきであるが、必要に応じて組織改正や事務分掌の見直し等を検討していく。		
				障害福祉課	長期検討	関係課との協議等が必要		
				スポーツ課	長期検討	関係課との協議等が必要		
21	R5	障ス	全国大会等に出場に必要な補助、障がい者スポーツの底辺の拡大や啓蒙には、市が実施している障害者スポーツ振興事業等を活用すると良い	障害福祉課	改善可能	令和6年度から既存事業（障害者スポーツ振興事業）に上乗せして予算要求を行う。		
22	R5	もの	旭川フード塾を設置～地域食材の特徴や調理方法、加工方法、保存方法、ブランディング、マーケティング、情報発信などを「無料」で学べる環境を整備する。	産業振興課	改善可能	本年度事業において、食関連産業の発展に向けた課題のリサーチや今後取り組むべきことについて検討しており、その一環として実施できる可能性あり。		
				経済交流課	調査	食関連事業者のニーズ調査を踏まえ、検討する必要がある。		
23	R5	もの	旭川の食に特化したグルメ番組～見る人も出る人もワクワクする食の番組（全国放送 ※地元企業から広告を募集し、オール旭川で番組づくり ※公式インフルエンサーを認定（毎日発信）	産業振興課	調査	関係課との調整による業務分担・連携、予算確保が必要であることと、実施の必要性に関する調査が必要。		
				広報広聴課	調査	テレビを活用した地域の魅力発信は高い影響力が期待できる反面、オール旭川での全国放送番組の制作はかなりのコストがかかる事が想定されるため、効果とコストを見極める必要がある。また、拡散力のあるインフルエンサーを活用したSNSを通じた魅力発信については、メリット・デメリット、運用方法を踏まえ導入の可否について調査を要する。		
				経済交流課	調査	関係課との調整による業務分担・連携、予算確保が必要であることと、実施の必要性に関する調査が必要。		
24	R5	もの	旭川地域商社の役割を拡充～質の高い取り組みを継続的に維持していくためには、作る人、教える人、届ける人、伝える人、売る人を取りまとめる専門機関をつくる。	産業振興課	改善可能	本年度事業において、食関連産業の発展に向けた課題のリサーチや今後取り組むべきことについて検討しており、その一環として実施できる可能性あり。		
				経済交流課	改善可能	旭川物産協会及び地場産センターが地域商社の役割を担うべき団体と考えており、それら団体の機能強化を図るため、事業を委託し、販路拡大と地域資源のブラッシュアップを推進する。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
25	R5	もの	旭川市職員の昼休憩時間を45分→60分に戻す～昼食時間にゆとりをもたせることで、毎日約1,000人に買物公園でお金を落とす機会を創出。同時に、職員の幸福度を上げ、行政サービスにその幸せを循環させる。	産業振興課	調査	市役所の仕組みの変更になるため、45分休憩に変更した際のアンケート調査などが必要。		
				人事課	実施不可	制度上の制約等のため、勤務時間の短縮、延長ともに現状では実施不可。		
26	R5	もの	旭川市民駐車料金サポート事業～中心市街地の有料駐車場料金のサポートを受けられる制度を設計。（案：18歳以上の市民／月120分の電子クーポンを進呈）	産業振興課	調査	関係課との調整による業務分担・連携、予算確保が必要であることと、実施の必要性に関する調査が必要。		
				地域振興課	実施済	中心市街地の駐車場については、経済部経済交流課において、旭川平和通商店街振興組合が実施している共通利用駐車場制度の運営に対し支援を行っている。		
				経済交流課	実施済	中心市街地の駐車場について、旭川平和通商店街振興組合が実施している共通利用駐車場制度の運営に対し支援を行っている。本制度は、利用者が加盟店舗において各店舗が定める額以上の買物をした場合、加盟駐車場の駐車料金が一定時間無料になる駐車券を配布する仕組みとなっている。		
27	R5	もの	地域間シャトルバス 無料運行～1市8町連携事業として、周辺地域間のシャトルバスを無料運行（毎週末／2次交通を活用）※観光客は対象外（サービス提供はDXを活用）	産業振興課	調査	関係課との調整による業務分担・連携、予算確保が必要であることと、実施の必要性に関する調査が必要。		
				都市計画課	実施不可	1市8町の間ですでに路線バスが運行され、利用者減で存続に向けた関係者との協議をすすめている中、無料バスを運行することは路線バス事業者の経営を更に圧迫することにつながることから、実施は不可能。		
28	R5	もの	契約農家と地域を循環するフードトラック事業～取れすぎて困っている食材、色形は悪いけど味はとっても美味しい食材、流通させる量は作れないけど、かなりこだわってつくっている加工品など、生産者と消費者を繋ぎ、地域食材の魅力を掘り起こすプロジェクト。	産業振興課	調査	関係課との調整による業務分担・連携、予算確保が必要であることと、実施の必要性に関する調査が必要。		
				農業振興課	調査	フードトラック事業調査への協力や農業者への情報提供は可能である。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
29	R5	もの	少量・多品目の食品残渣からつくる飼料開発事業～食関連のプロジェクトを立ち上げると、その裏で食品残渣も増えることが予想される。例えば、コンポストで堆肥化したり、家畜の飼料に生まれ変わらせることで新たな地域循環が生まれる。（分別13品目）	産業振興課	改善可能	本年度事業において、食関連産業の発展に向けた課題のリサーチや今後取り組むべきことについて検討しており、その一環として実施できる可能性あり。		
				農業振興課	調査	事業の検討にあたっての情報提供は可能である。		
				廃棄物政策課	調査	食関連事業者の食品残渣(廃棄物)については、排出者の業種や排出される廃棄物の性状、数量により、必要な許可等や既存の堆肥化処理業者等による対応の可否等の整理が必要なため、関係課との調整による業務分担・連携、実施の必要性に関する調査が必要。（なお、分別13品目については、家庭ごみの分別区分であり、事業系の廃棄物には適用されません。）		
30	R5	もの	仮設ハウスを活用した場づくり事業～仮設ハウスを駅前広場や買物公園、北彩都ガーデンなどに設置し、農家さんや食に関わる市民がポップアップストアとして活用できる環境を整備する。	産業振興課	調査	関係課との調整による業務分担・連携、予算確保が必要であることと、実施の必要性に関する調査が必要。		
				農業振興課	調査	ポップアップストアの調査等への協力や農業者への情報提供は可能である。		
				経済交流課	調査	仮設ハウスの設置や宣伝広告費等の予算確保が必要であり、旭川はれて屋台村が出店トライアルの場として存在することや買物公園内でフリーマーケットも開催されていることから、今後も関係課と連携しながらニーズの調査を進める。		
				地域振興課	調査	買物公園エリアにおける空間の効果的な活用については、R5年度中に構築する官民連携によるエリアプラットフォームにおいて、R6年度以降に検討を行う。		
31	R5	もの	買物公園を「食」と「人」で賑わう「愛される場所」へと「デザイン」する。	産業振興課	改善可能	本年度事業において、食関連産業の発展に向けた課題のリサーチや今後取り組むべきことについて検討しており、その一環として実施できる可能性あり。		
				経済交流課	改善可能	すでに商店街等が国等の補助金を活用してまち文化やバル文化醸成のきっかけとなる取組を始めているが、補助期間終了後はその定着に向けて本市が一定程度の財源を確保し取組の下支えをすることが必要である。		
				地域振興課	調査	買物公園エリアにおける空間の効果的な活用については、R5年度中に構築する官民連携によるエリアプラットフォームにおいて、R6年度以降に検討を行う。		
32	R5	文化	市民芸術マルシェ（仮称）の開催	文化振興課	改善可能	まなびピアにおける文化芸術団体のコラボによる取組の実施を検討する。		
				社会教育課	改善可能	まなびピアの開催目的に合う取組（参加）は可能。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
33	R5	文化	未来会議のような他ジャンルの文化芸術活動団体が集まり情報やアイデアを交換し合う場の創設	文化振興課	改善可能	芸術マルシェの実施に向け、他ジャンルで意見交換を行う場の設置を検討する。		
34	R5	文化	学校への出張イベント開催	文化振興課	改善可能	芸術マルシェの実施に付随する取組として実施を検討する。		
35	R5	文化	ギャラリーやイベントの全体像が分かるアートマップの作成	文化振興課	改善可能	芸術マルシェの実施に付随する取組として実施を検討する。		
36	R5	文化	参加している文化活動のジャンル毎のバッジの配付	文化振興課	改善可能	芸術マルシェの実施に付随する取組として実施を検討する。		
37	R5	文化	新規団体・小さな団体でも利用しやすい、発表施設の新設	文化振興課	長期検討	ハード整備につき短期での実施は困難。文化系の市有施設等の移転・改修等が生じた際の参考意見として受け止める。		
38	R5	子育て	子育て前の世代も対象に見据えながら、実際の子育てに必要なお金の面なども含めて、「旭川での子育て」を俯瞰的かつ網羅的に伝える新たな情報発信のアプローチ	子育て支援課	調査	子ども・子育てに関する情報について、旭川未来会議のトライアルとして作成した「あさひかわリアル子育てガイドブック」のコンセプトも踏まえながら、妊娠前から子育て世代までが、よりわかりやすく手軽に入手できるように、SNS（インスタグラムを想定）による情報発信を試行する（令和6年度を想定）。		
39	R5	子育て	“あさひかわこどもーる”の認知度・利便性アップ	子育て支援課	予算要求	令和6年度予算において“あさひかわこどもーる”の改修に係る予算を要求している。 ※改修内容（予定） 「イベント」カテゴリの充実、会員登録機能の充実、「つながる」カテゴリの追加、など		
40	R5	子育て	パパが気軽に参加できるイベントや企業・大学等での男性向けの子育て講座などを開催する。	おやか応援課	実施済	旭川市子育て世代包括支援センターwaka・baにおけるイベント等において、父親（パパ）も対象とした講座等を実施しているほか、参加しやすいように土曜日開催を行っている。		
41	R5	子育て	子育て用品のリサイクル（リユース）を通じた子育て支援（譲渡者からのメッセージ添付などにより、まち全体で子育てを支える・関わる雰囲気づくり）	子育て支援課	調査	中古品の取扱に関するノウハウを持つ民間リユース事業者等との連携（業務委託）による実施可否や手法（イベント、常設）などについて調査・検討する。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（年 月時点）
42	R5	子育て	大学や地域と連携した子どもの体験機会の創出（学生＝勉強、運動、遊び、地域住民＝知識・経験、遊び）	子育て支援課	調査	幼児教育・保育施設、放課後児童クラブや児童センター等においては、各施設等の判断により、必要に応じて適宜行われていると考えられる。 子どもの居場所づくりの観点から、意見No.43とあわせて調査・検討する。		
				公立大学課	実施済	旭川市立大学は、本市が設置者である公立大学法人が運営しており、幼稚園・小学校での料理教室や大学学校祭における工作体験ができるワークショップ、小学生対象のサッカースクールの実施や、公民館での子育てサロン、書店での絵本の子ども読み聞かせの開催など、既に子どもの体験機会の創出に向けた取組を実施している。 意見等について、引き続き取組を進められるよう旭川市立大学と共有していく。		
				地域活動推進課	実施済	多くの地域において、各地域まちづくり推進協議会の意見に基づく取組として、子どもの居場所づくりや子どもを対象とした多世代交流などが行われている。		
43	R5	子育て	子どもが自分で歩いて行ける施設等（※）での、子どもが気軽に立ち寄ることができ、遊び、交流や滞在できる居場所づくり ※地区・住民センター、公民館、町内会館・住民会館など	子育て支援課	調査	子どもの居場所づくりの観点において、各地域の施設等が居場所づくり活動に自主的に参画しやすいスキームについて、関係部局とも協議の上で調査・検討する。 ※案：子どもが利用しやすいように、関心が高いコンテンツ（玩具・図書）や中高生にも訴求する学習用具等をパッケージ化して貸し出す、など。		
				地域活動推進課	実施済	緑が丘地域活動センターにおいて、第2・第4日曜日の午前中に、キッズコーナーで乳幼児から小学生を対象に絵本の読み聞かせ等のおはなし会を実施している。今後も子どもが気軽に立ち寄れる交流スペースとして、充実した出会いの場を図り、子どもの居場所づくりを進めていく。		
				公民館事業課	実施済	公民館のロビー等を交流の場として開放しているほか、一部の館では定期的に学生を対象とした遊びの場や自習室として貸室の開放を行っている。地域住民・団体が子どもの居場所づくりを実施する場合には、共催し、場所提供等の支援も行っている。		
44	R5	子育て	広報誌表紙に“あさひかわこどもーる”のロゴやQRコードを掲載するなど、自然と目につく情報発信・情報提供	子育て支援課	実施済	広報誌（「子育て・教育情報」ページ）に定期掲載している“あさひかわこどもーる”のPRについて、掲載面積を従来よりも拡大している。 また、令和6年度に予算要求している“あさひかわこどもーる”の改修にあわせて、「くらしのアプリ」との連動やLINEメニューへの追加など、「子育て」以外のチャンネルからもアクセスしやすくなる手法について調査・検討する。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
45	R5	子育て	子育て支援サービスの確実な利用（産後ケア、産前・産後ヘルパー、ショートステイ、トワイライトステイなど）	おやこ応援課	実施済	産後ケア事業、産前・産後ヘルパー事業においては、利用者が増加傾向にある中で、利用者及び事業者アンケートなどを通じた実態把握を行いながら、実施機関の増や適確な利用環境の確保に努めている。		
				子ども総合相談センター	予算要求	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）においては、令和5年度から里親を受入先として追加するなど、受入環境の確保に努めているが、定員等の理由で利用できない場合もあることから、令和6年度予算において、専任人員の配置など適確な受入実現に向けた費用（委託料及び補助金）を要求している。		
46	R5	子育て	習いごとの送迎サポート	子育て支援課	調査	行政による習いごとの送迎サポートの必要性について、本市の子育て支援の方向性や既存事業との優先順位も踏まえて、調査・検討する。		
47	R5	環境	エネルギーの地産地消の取り組みとして木質バイオマスの可能性と活用拡大に向けた取組	環境総務課	調査	さまざまな機会を生かしエネルギーの地産地消の取り組みとして木質バイオマスの可能性と活用拡大に向けた取組について検討します。		
48	R5	環境	旭川市木質バイオマスストーブ導入促進事業補助金の増額とPR強化	環境総務課	改善可能	令和6年度予算における木質バイオマスストーブ導入促進事業補助金の予算要求額を増額した。		
49	R5	環境	市民を巻きこんでの森林の適正管理や植樹活動	環境総務課	調査	関係部局等とともに、森林の適正管理や植樹活動について検討します。		
				農林整備課	実施済	毎年、市民を対象に森林教室を開催し、とみはら自然の森などで植樹体験を実施したり、小学校の授業と連携して、小学生に森林などの自然に親しんでもらう小学校森林体験授業を行っている。 また、北海道立北の森づくり専門学院が行う植樹などの地域実習や、環境貢献や企業価値向上を目的として、森林活動を行いたい企業と連携した「ほっかいどう企業の森林づくり」のフィールドとして、市有林の一部を提供することも予定している。		
50	R5	環境	あさひかわ市民の森の設立	環境総務課	調査	関係部局等とともに、あさひかわ市民の森の設立について検討します。		
				農林整備課	調査	当課所管の「とみはら自然の森」では、市有林の高度利用を図り、市民の自然・環境に対する意識の醸成を図っている。「とみはら自然の森」を「あさひかわ市民の森」として活用できないか関係部局等とともに検討します。		
51	R5	環境	市民の森でのイベント企画	環境総務課	調査	関係部局等とともに、市民の森でのイベント企画について検討します。		
				農林整備課	調査	「とみはら自然の森」を「あさひかわ市民の森」としての検討と合わせて、イベント企画についても関係部局等とともに検討します。		

No.	年度	分野	意見等	担当課・関係課	レベル	検討状況（令和5年12月時点）	レベル	検討状況（ 年 月時点）
52	R5	環境	デコ活イベントなどの企画立案	環境総務課	調査	デコ活イベントなどの企画立案について検討します。		
53	R5	環境	雪氷熱の利活用	環境総務課	調査	さまざまな機会を生かし雪氷熱の利活用について検討します。		
54	R5	環境	太陽光発電・蓄電池システムの共同購入	環境総務課	調査	太陽光発電・蓄電池システムの共同購入について検討します。		
55	R5	環境	家庭用省エネ設備の普及促進	環境総務課	調査	家庭用省エネ設備の普及促進について検討します。		
56	R5	環境	公用車を活用したE Vカーシェアリング事業の導入	環境総務課	調査	関係部局とともに公用車を活用したE Vカーシェアリング事業の導入について検討します。		
				管財課	予算要求	R6年度予算計上済み。（試験導入）		
57	R5	環境	C O 2 排出量の見える化パネルの設置	環境総務課	調査	C O 2 排出量の見える化パネルの設置について検討します。		